

平成 20 年

愛知県観光レクリエーション利用者統計

平成 20 年 1 月 ~ 12 月

産業労働部観光コンベンション課



ま え が き

本県では、観光レクリエーションニーズに対応し、県内の観光レクリエーション資源・施設における利用者数（観光客入込数）及び宿泊施設の利用者数を把握し、観光振興を適正に促進する上での基礎資料とするために、市町村を通じて、毎年、観光レクリエーション利用者統計調査を実施しております。

本調査は、平成20年の観光レクリエーション利用者統計及び宿泊者統計の結果をとりまとめたものです。

この観光レクリエーション利用者統計は、それぞれの観光レクリエーション資源・施設を訪れた客数の合計人数（人・地点）で表したものでありますので、各地域内での観光レクリエーション活動の発生量の目安として参考にいただければ幸いです。

なお、調査にあたり多大なご協力をいただきました各市町村、各施設をはじめ関係者の皆様に対し、厚くお礼申し上げます。

平成21年11月

愛知県産業労働部観光コンベンション課

目 次

第1	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査期間	1
3	調査内容	1
4	調査依頼先	1
5	調査対象	1
6	利用上の注意	2
第2	観光レクリエーション利用者統計	4
1	利用者総数の推移	4
2	月別及び季節別利用者数	4
3	施設等区分別利用者数等	5
第3	宿泊者統計	8
1	地域別宿泊施設数及び地域別・月別宿泊者数	8
2	修学旅行等宿泊者	10
3	外国人宿泊者	12
第4	参考資料	13
1	観光レクリエーション利用者統計地域別集計データ	13
(1)	地域別利用者割合及び利用者数の推移	13
(2)	地域の特色	14
2	観光レクリエーション利用者統計利用者数上位観光資源	18
(1)	全体	18
(2)	施設等区分別	19
3	観光レクリエーション利用者統計年別・地域別・施設区分別利用者数・構成比	24
(1)	年別・地域別利用者数	24
(2)	月別・地域別利用者数	24
(3)	年別・施設等区分別利用者数	25
(4)	地域別・施設等区分別利用者数及び構成比	26
4	観光レクリエーション利用者統計地域別・市町村別集計明細表	27
5	宿泊者統計集計データ	42
(1)	市町村別宿泊施設数	42
(2)	市町村別・月別宿泊者数	43
(3)	県別修学旅行等宿泊者数	44
(4)	市町村別・国別外国人宿泊者数	45

第 1 調査の概要

1 調査の目的

近年の増大する余暇需要による観光レクリエーションニーズに対応し、県内の観光レクリエーション資源・施設における利用者数（観光客入込数）及び宿泊施設の利用者数を把握し、観光開発・観光振興を適正に促進する上での基礎資料とすることを目的としている。

2 調査期間

平成 20 年 1 月 1 日から平成 20 年 12 月 31 日

3 調査内容

（ 1 ）観光レクリエーション利用者統計

ア 観光レクリエーション資源・施設別

イ 月別

ウ 施設等区分別

（ 2 ）宿泊者統計

ア ホテル・旅館等区分別宿泊施設

イ 月別宿泊者

ウ 修学旅行等宿泊者

（ア）学校別

（イ）都道府県別

エ 外国人宿泊者

（ア）月別

（イ）国別

4 調査依頼先

県内 61 市町村（別表 地域区分一覧）

5 調査対象

（ 1 ）観光レクリエーション利用者統計

県内観光レクリエーション資源・施設における利用者数（観光客入込数）

行・催事については、年間 1 千人以上、他の観光資源については、年間 1 万人以上を調査対象とする。（ 695 資源・施設を対象）

なお、観光レクリエーション資源・施設の選定については、調査対象の基準を満たす限り、各市町村の判断に委ねる。

(2) 宿泊者統計

県内宿泊施設における宿泊者数 (7 8 6 施設から報告)

6 利用上の注意

(1) 地域区分

地域区分については、「愛知県観光基本計画 (平成 9 年 3 月) 」の観光地域の区分に基づくものである。(別表 地域区分一覧)

(2) 観光レクリエーション利用者統計

観光レクリエーション資源・施設について、市町村独自の方法により調査または推計を行った利用者 (延数) の報告数値をもとに作成しており、集計結果は、特に補正を行わない単純合計 (人・地点) である。なお、数値の単位未満は、四捨五入することを原則としており、合計の数字と内訳の計が一致しない場合がある。

(3) 宿泊者統計

宿泊施設から回答があったものを集計しているため、すべての宿泊者の統計資料ではない。

また、1人が2泊3日した場合の宿泊者数は、2人として集計している。

なお、数値の単位未満は、四捨五入することを原則としており、合計の数字と内訳の計が一致しない場合がある

(4) 観光レクリエーション利用者統計地域別・市町村別集計明細表及び宿泊統計集計データ
(P 2 7 ~ P 4 5)

参考資料における観光レクリエーション利用者統計と宿泊者統計の平成 1 8 年及び平成 1 9 年の数値については、平成 2 0 年に掲載されない調査対象等があるため、合計の数値と内訳の数値が一致しない場合がある。

なお、平成 1 8 年及び平成 1 9 年における市町村単位及び地域単位の合計数値については、平成 2 0 年との比較ができるよう、平成 2 0 年 1 2 月 3 1 日現在における合併後の区分単位で再集計をしている。

地域区分一覧

地域	市町村
名古屋地域 (1)	名古屋市
尾張北部地域 (1 7)	豊山町 北名古屋市 春日町 清須市 豊明市 東郷町 日進市 長久手町 瀬戸市 春日井市 尾張旭市 犬山市 小牧市 扶桑町 大口町 江南市 岩倉市
一宮・尾張西部地域 (1 1)	一宮市 稲沢市 津島市 七宝町 甚目寺町 美和町 大治町 蟹江町 愛西市 弥富市 飛島村
知多・衣浦東部地域 (1 3)	東海市 大府市 知多市 東浦町 阿久比町 常滑市 半田市 武豊町 刈谷市 安城市 知立市 高浜市 碧南市
岡崎・西三河内陸地域 (3)	岡崎市 豊田市 三好町
新城・設楽地域 (4)	新城市 設楽町 東栄町 豊根村
豊橋・三河湾地域 (1 2)	美浜町 南知多町 西尾市 幸田町 一色町 吉良町 幡豆町 蒲郡市 田原市 豊橋市 豊川市 小坂井町

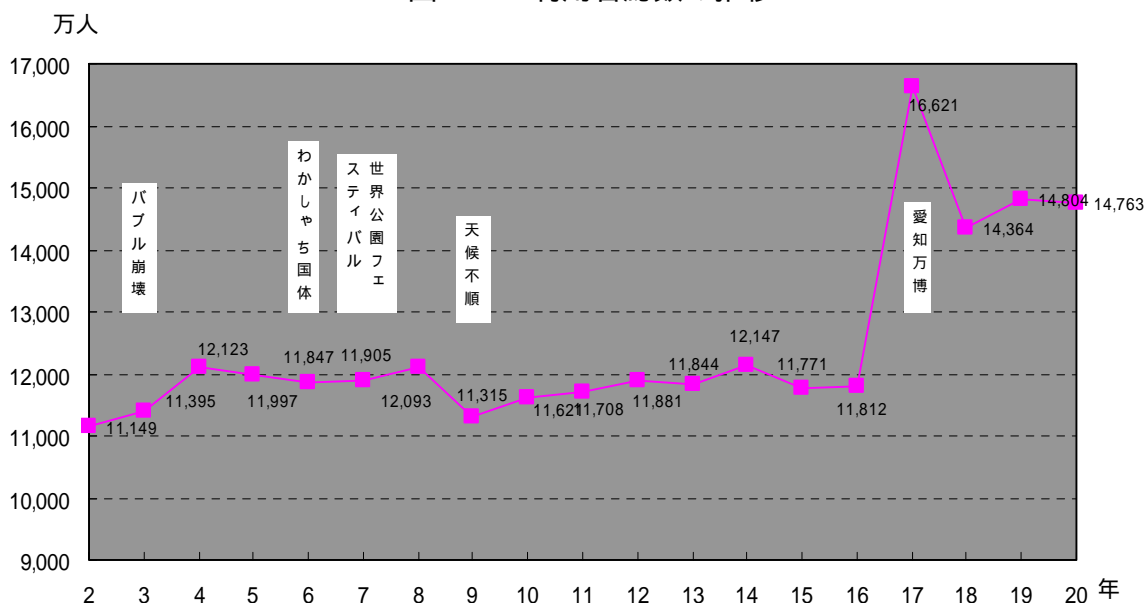
* () は、構成市町村数。

第2 観光レクリエーション利用者統計

1 利用者総数の推移

平成20年の愛知県内における観光レクリエーション資源・施設利用者総数は、1億4,762万6,562人となった。平成17年3月25日から9月25日まで開催された2005年日本国際博覧会（以下「愛知万博」という）の開催等により大幅に増加した平成17年よりは減少したものの、およそ1億1千万人から1億2千万人で推移していた平成16年以前と比較すると、およそ2,700万人の増加となっている。前年と比較すると、41万6,228人減少（前年比99.7%）している。（図1-1）

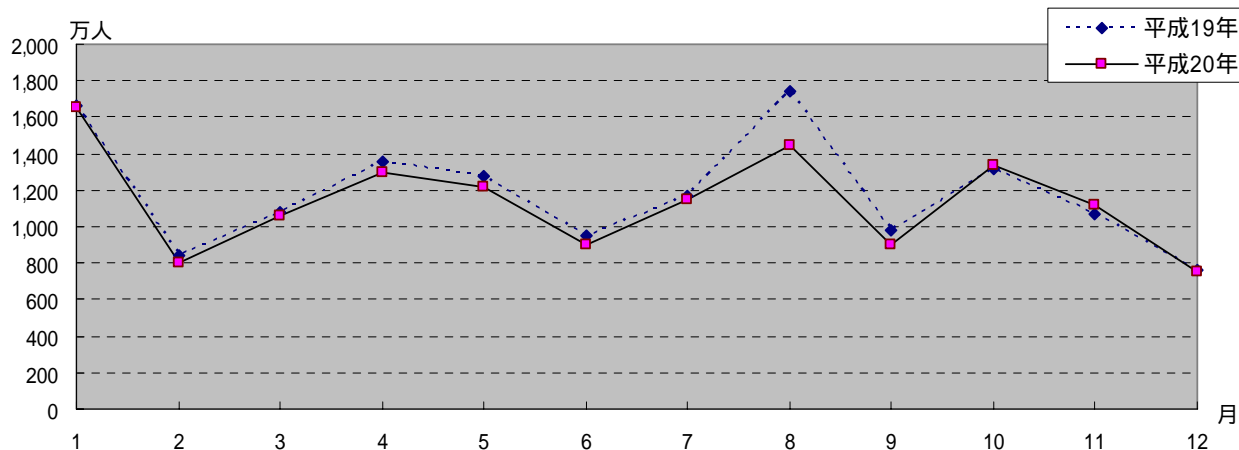
図1-1 利用者総数の推移



2 月別及び季節別利用者数

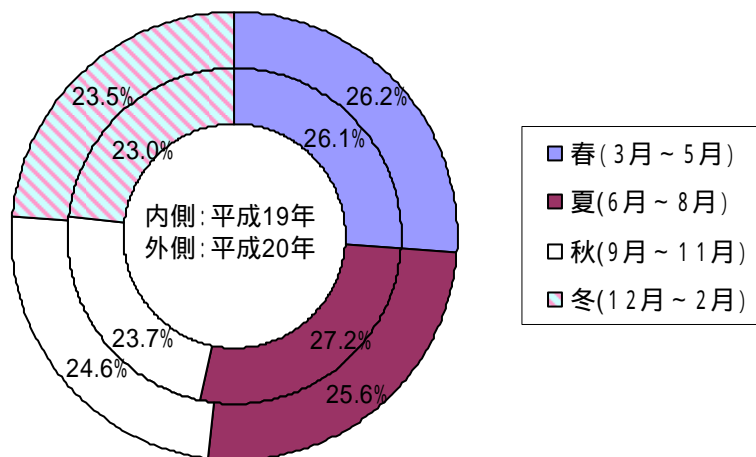
月別の利用者数を見ると、利用者数の傾向は、愛知万博が開催された平成17年を除いた平成16年以前及び平成18年以降とほぼ同じく、1月、8月の利用が多く、12月の利用者数が少なくなっている。（図1-2）

図1-2 月別利用者数の推移



季節別に見てみると、季節ごとの差はほとんどなく、平成16年以前及び前年の傾向と概ね同じである。(図1-3)

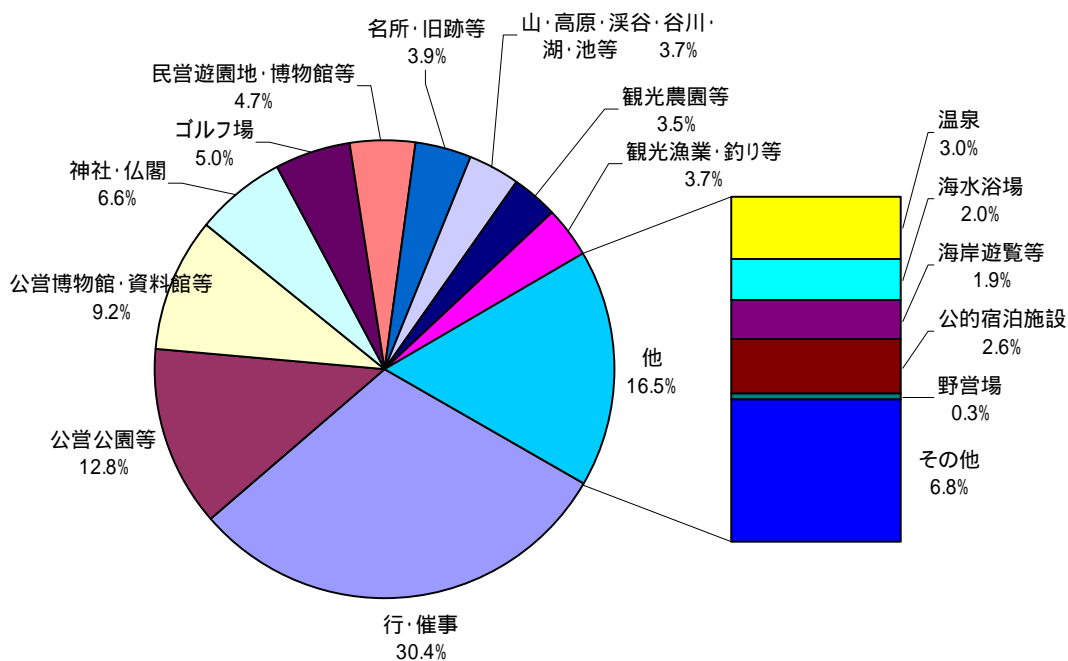
図1-3 季節別利用者の割合



3 施設等区分別利用者数等

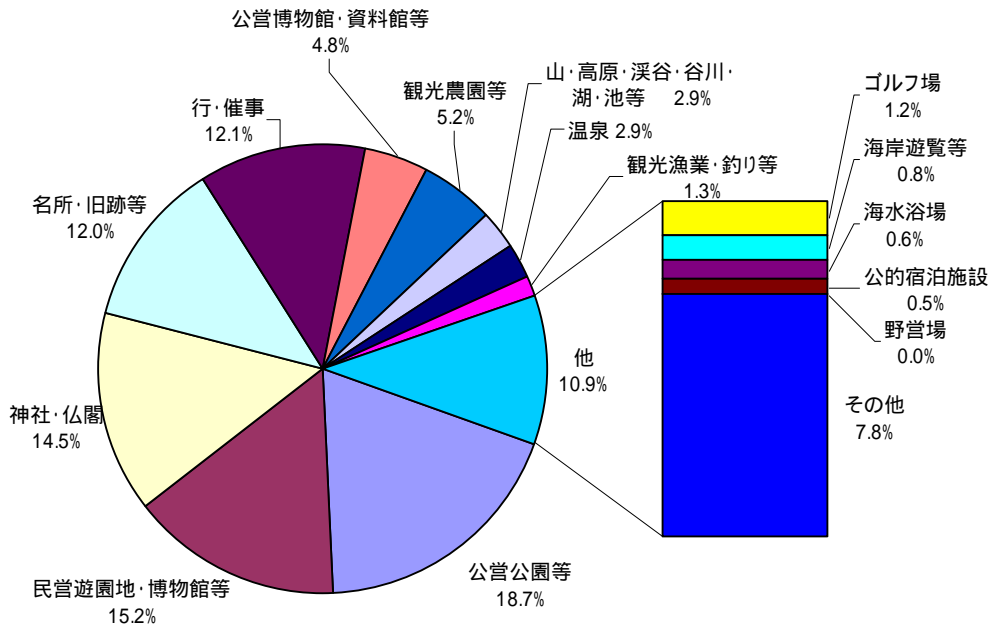
市町村から報告のあった695件の観光レクリエーション資源・施設において、施設等区分別に見ると、「行・催事」(211件:30.4%)が最も多く、次いで、「公営公園等」(89件:12.8%)、「公営博物館・資料館等」(64件:9.2%)、「神社・仏閣」(46件:6.6%)、「ゴルフ場」(35件:5.0%)の順となっている。(図1-4)

図1-4 施設等区分別件数の割合



利用者数については、「公営公園等」が最も多く、次いで「民営遊園地・博物館等」、「神社・仏閣」の順となっている。（図1 - 5）

図1 - 5 施設等区分別利用者の割合



利用者数の傾向としては、前年と比較すると「観光農園等」が大きく増加、「公園公園等」及び「観光漁業・釣り等」は、僅かながら増加、その他の施設については、横ばいもしくは減少しているが、概ね平成16年以前の水準を保持している。（図1 - 6）

図1 - 6 施設等区分別利用者数の推移(1)

